

2024年3月期決算 IR説明会資料

2024年5月
株式会社 極 洋

(東証プライム市場 証券コード 1301)

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

1.前中期経営計画の総括	P2～5
2.新中期経営計画の概要	P6～9
3.2025年3月期の連結業績予想	P10～13
4.2024年3月期の実績	P14～19
5.セグメントの状況	P20～29
ご参考資料	P30～39

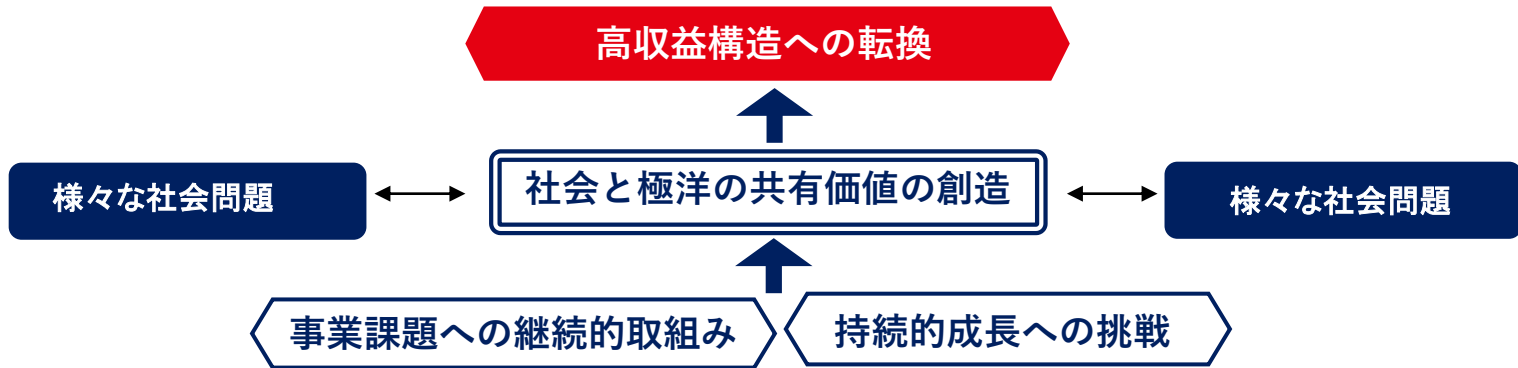
1.前中期経営計画 『Build Up Platform 2024』の総括

前中期経営計画の目標値と実績

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	目標値	目標比
売上高	2,535億円	2,721億円	2,616億円	3,000億円	△383億円
営業利益	63億円	81億円	88億円	70億円	+18億円
経常利益	69億円	81億円	88億円	65億円	+23億円
営業利益率	2.5%	3.0%	3.4%	2.0%超	+1.4ポイント
経常利益率	2.7%	3.0%	3.4%	2.0%超	+1.4ポイント
海外売上高	183億円	254億円	218億円	300億円	△81億円
有利子負債 資本倍率 (D/Eレシオ)	1.5倍	1.6倍	1.4倍	1.5倍	△0.1ポイント

表示単位未満は切り捨て

主な戦略と取り組み・成果



● 食品事業の拡大

- 食品部門を商材別から業態別の組織に再編成し、販売体制を強化
- 自社工場製品中心の販売、生産アイテムの集約により、高収益化を推進

● 海外事業の拡大

- 海外生産拠点を整備

※詳細はp5参照

● 資源アクセスの強化

- カツオを漁獲する海外まき網船を建造



まき網船

● ブランドの強化

- 新テレビCMの放映



商品CM



企業CM

経営基盤の強化、ESG経営

● 財務基盤の強化

- 公募増資により約37億円調達
海外生産拠点の積極的な設備投資に充当
今後の成長投資のための財務柔軟性を確保

主な戦略と取り組み・成果

● 海外事業の拡大

▶ 海外生産拠点を整備

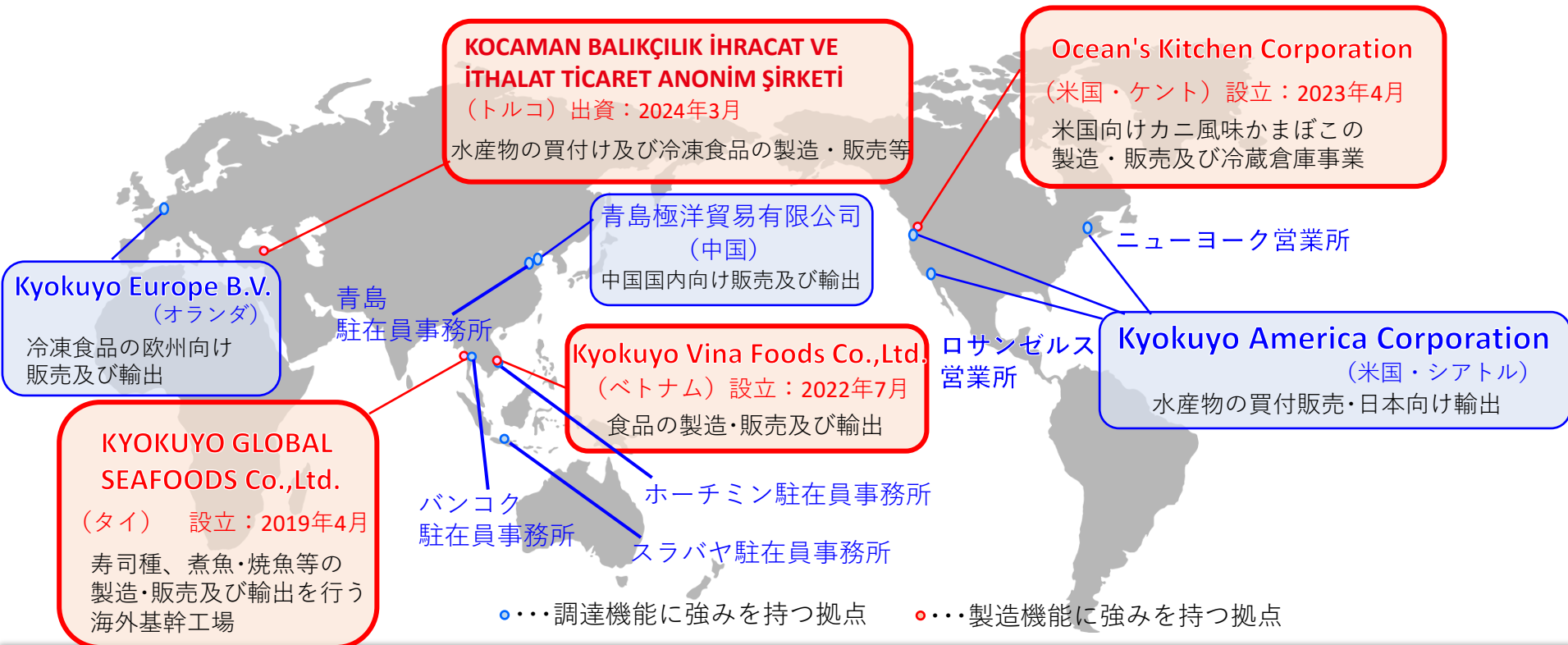
- ・タイの海外基幹工場が完工
- ・ベトナムに食品生産会社を設立（24年度中に稼働予定）
- ・北米にカニ風味かまぼこ製造会社を設立（24年度中に稼働予定）
- ・冷凍食品を製造、ヨーロッパに輸出しているトルコ企業に出資



トルコ・KOCAMAN社の冷凍食品



タイのKYOKUYO GLOBAL SEAFOODS



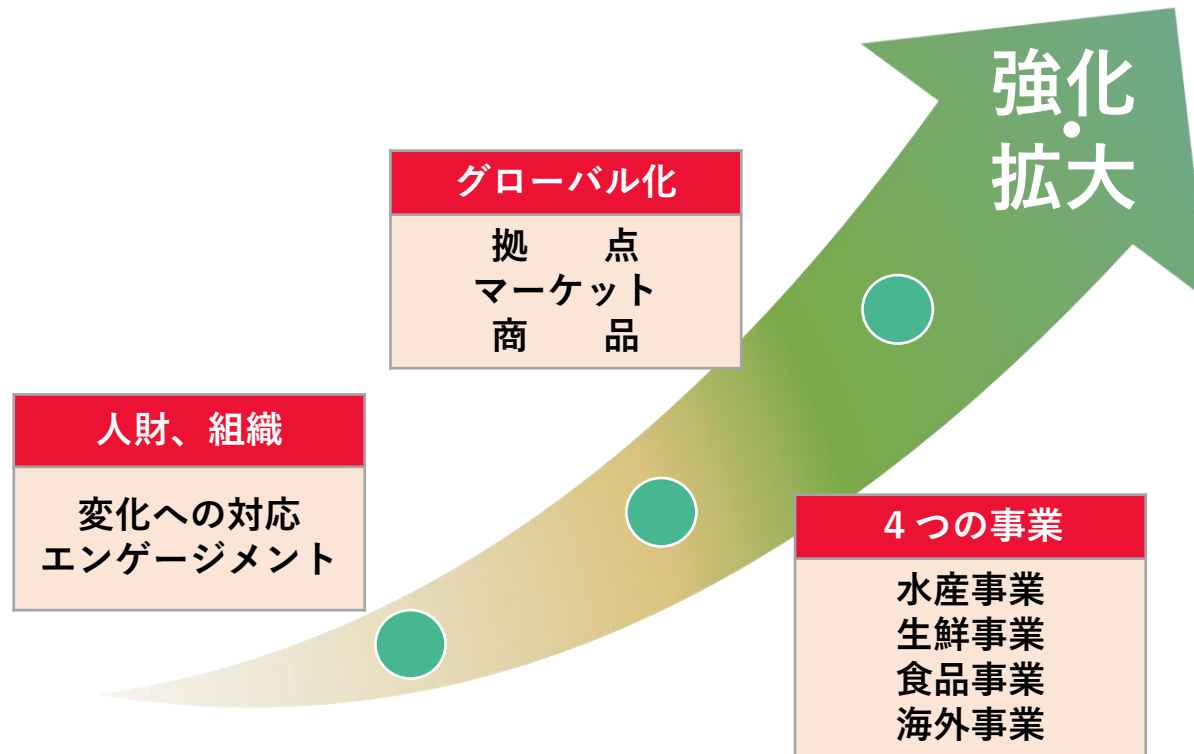
2.新中期経営計画 『Gear Up Kyokuyo 2027』の概要

新中期経営計画の概要

パーパス

魚を中心に、食で人と暮らしと地球によりそう サステナブルな世界へ

強いキョクヨーへ



事業基盤（生産拠点、販売拠点等）の拡充
財務基盤（安定的な利益の獲得、多様な資金調達等）の強化
ステークホルダー（お客様、お取引先様）とのパートナーシップの強化

新中期経営計画の概要

強いキョクヨーへ

キョクヨーのミッション

- 1 魚を中心に健康で安心安全な食を提供する
- 2 グローバルなサプライチェーンの中で責任ある調達を実践する
- 3 社会や地球環境と調和したサステナブルな食を実現する
- 4 一人ひとりが活躍できる明るい会社をつくる

➤ 3つの視座

1. 人財・組織

成長の原動力となる人財の育成を通して、社会の変化に対応できる組織を整える。

2. 4つの事業

変化に柔軟に適應できる**人財**に富んだ**組織**のもとで、水産・生鮮・食品・海外の4つの事業を柱に、グループを強化・拡大。

3. グローバル化

4つの事業展開で世界各地の食のニーズを捉えた商品の現地生産・販売体制を整え、海外で事業ウィングを拡げる。

新中期経営計画の概要

➤ 6つのKPI（2027年3月期目標値）

売上高	4,000億円
営業利益	135億円
経常利益	135億円
海外売上高比率	15%以上
ROIC(投下資本利益率)	6%以上
DOE(株主資本配当率)	3%以上

3. 2025年3月期の連結業績予想

連結業績予想と中計目標値

	2025年3月期 連結業績予想	中期経営計画 目標値 (2027年3月期)
売上高	3, 0 0 0 億円	4, 0 0 0 億円
営業利益	1 0 0 億円	1 3 5 億円
経常利益	1 0 0 億円	1 3 5 億円

設備投資計画

	概要	2025年3月期 計画
極 洋	生産工場関連 研究所関連 養殖事業海上 IT関連その他	15億円 1億円 0億円 8億円
	計	24億円
関係 会社	生産工場関連 まき網事業関連 養殖事業海上 IT関連その他	72億円 2億円 1億円 2億円
	計	77億円
合計		101億円

主な投資案件

子会社工場の設備改修等

- ・ 北米のカニかま製造会社
「Ocean's Kitchen」 14億円
 - ・ ベトナムの食品製造会社
「Kyokuyo Vina Foods」 29億円
 - ・ 北海道のホタテ加工、輸出会社
「太平洋スキャロップ」 5億円
- その他、工場設備の改修等

<注視すべき点>

- 日米の金利差拡大
- 米国の利下げ時期・幅
- 米国大統領選
- 中国の不動産不況

<事業環境認識>

- 賃上げを上回る物価高による節約志向の高まり
- 人手不足の深刻化
- 金利のある時代への突入

4 . 2024年3月期の実績

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	前期比		2024年 3月期当初 通期予想	通期 予想比
			増減額	増減比 率		
売上高	272,167	261,604	△10,563	△3.9%	300,000	87.2%
営業利益	8,105	8,806	700	8.6%	8,500	103.6%
経常利益	8,182	8,856	673	8.2%	8,500	104.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,782	5,936	153	2.7%	6,000	98.9%

➤ 前期比

- ・売上高は水産物の販売減少により、減収。
- ・利益は水産事業、食品事業で大幅に改善。

➤ 通期予想比（2023年5月12日公表）

- ・売上高は下回るも、営業・経常利益は上回った。
利益は過去最高値を更新。

営業利益は3期連続、経常利益は4期連続、当期純利益は2期連続の最高値更新

※2024年3月期通期連結業績予想数値は2024年2月2日付で修正、公表しています

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年 3月末	2024年 3月末	前期比		2023年 3月末	2024年 3月末	前期比
資産の部				負債の部			
流動資産	114,202	124,297	10,094	流動負債	64,950	70,659	5,708
受取手形 及び売掛金	33,079	34,677	1,597	内、支払手形 および買掛金	8,563	8,417	△146
商品及び製品	52,620	59,308	6,687	内、短期借入金 (含むCP)	38,783	45,340	6,556
仕掛品	3,840	4,521	680	固定負債	34,383	31,200	△3,183
原材料及び貯蔵品	7,425	6,507	△917	内、長期借入金	29,816	28,975	△840
その他	17,236	19,282	2,045	負債合計	99,334	101,859	2,525
固定資産	32,098	36,422	4,324	純資産の部			
有形固定資産	18,912	21,670	2,758	株主資本	43,736	52,354	8,617
無形固定資産	348	887	539	その他の 包括利益累計額	3,805	6,622	2,816
投資その他の資産	12,837	13,864	1,027	非支配株主持分	△575	△115	459
資産合計	146,301	160,720	14,419	純資産合計	46,966	58,860	11,894
				負債及び純資産合計	146,301	160,720	14,419

- ・ 食品の生産コスト上昇により「商品及び製品」が増加
- ・ 海外子会社の工場新設に伴い「有形固定資産」が増加

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

		2023年3月期	2024年3月期	前期比
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前当期純利益	8,403	8,555	151
	減価償却費	2,264	2,427	162
	売上債権の増減 (△は増加)	△3,987	△1,281	2,705
	棚卸資産の増減 (△は増加)	△8,938	△8,055	883
	仕入債務の増減 (△は減少)	△1,672	△498	1,174
	その他	△2,313	△2,868	△555
	小計	△6,243	△1,721	4,521
投資活動による キャッシュ・フロー	固定資産の取得	△2,299	△5,336	△3,037
	その他	△39	△371	△331
	小計	△2,338	△5,707	△3,368
財務活動による キャッシュ・フロー	短期借入金 (含むCP)の増減 (△は減少)	12,246	3,913	△8,332
	長期借入れの増減 (△は減少)	△1,972	1,373	3,346
	その他	△1,262	3,236	4,498
	小計	9,011	8,524	△487

・ 海外事業拡大に向けた海外生産拠点の設備投資のため、「長期借入れ」が増加

連結財務指標の推移

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	前期比
自己資本 (百万円)	32,718	40,382	42,705	47,541	58,976	11,434
有利子負債 (百万円)	55,173	51,174	58,121	68,973	74,625	5,652
総資産 (百万円)	111,184	116,331	130,460	146,301	160,720	14,419
現金及び現金同等物の 期末残高 (百万円)	6,313	7,097	6,539	7,042	8,452	1,409
自己資本比率	29.4%	34.7%	32.7%	32.5%	36.7%	+4.2ポイント
D/Eレシオ	1.7倍	1.4倍	1.5倍	1.6倍	1.4倍	△0.2ポイント
ROE	6.3%	10.5%	11.2%	12.8%	11.1%	△1.7ポイント
ROA	3.2%	4.3%	5.6%	5.9%	5.8%	△0.1ポイント

ROE：「親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本*」、 ROA：「経常利益÷総資産*」 *当期末と前期末の平均値

- ・利益の過去最高値更新、公募増資により「自己資本」が増加
- ・自己資本の増加により、「D/Eレシオ」が改善

設備投資実績

	概要	2024年3月期 3月末実績
極 洋	生産工場関連	7億円
	研究所関連	0億円
	養殖事業海上	1億円
	IT関連その他	7億円
	計	15億円
関係 会社	生産工場関連	38億円
	まき網事業関連	1億円
	養殖事業海上	1億円
	IT関連その他	1億円
	計	41億円
	合計	56億円

主な投資案件

子会社工場の設備改修等

DX推進
グループ内横断的システム導入

- ・ 北米のカニかま製造会社
「Ocean's Kitchen」 24億円
- ・ ベトナムの食品製造会社
「Kyokuyo Vina Foods」 7億円

5.セグメントの状況

セグメントの状況

セグメント別売上高・利益

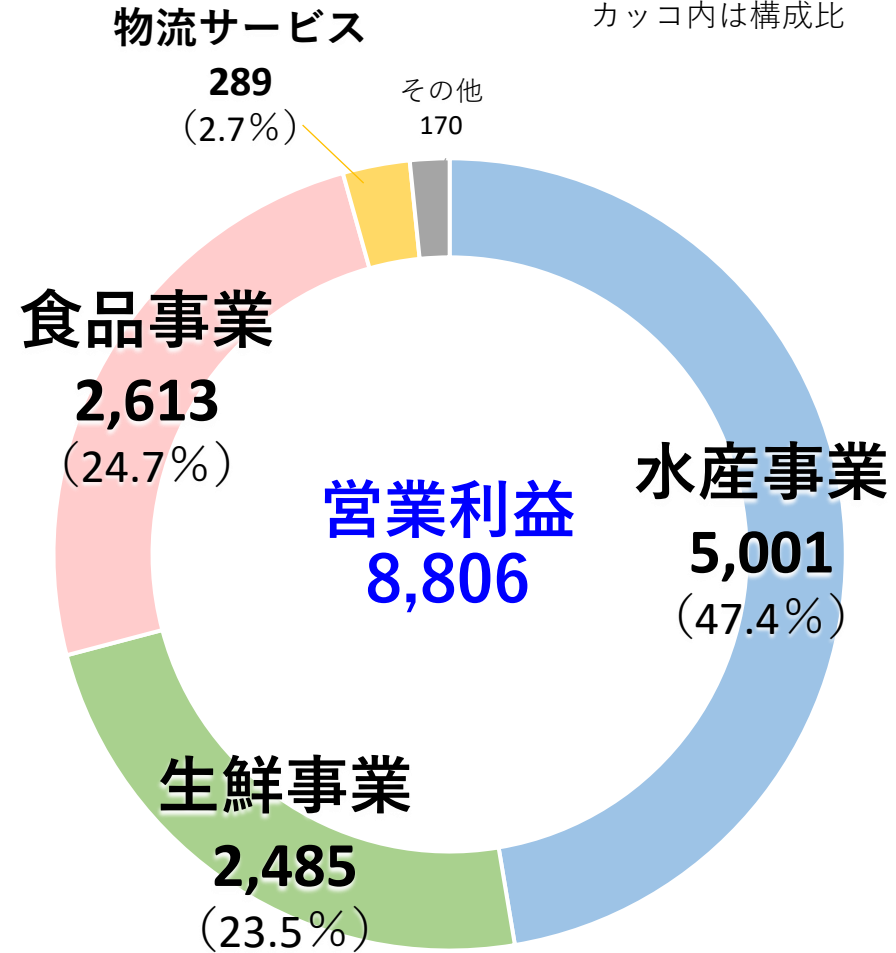
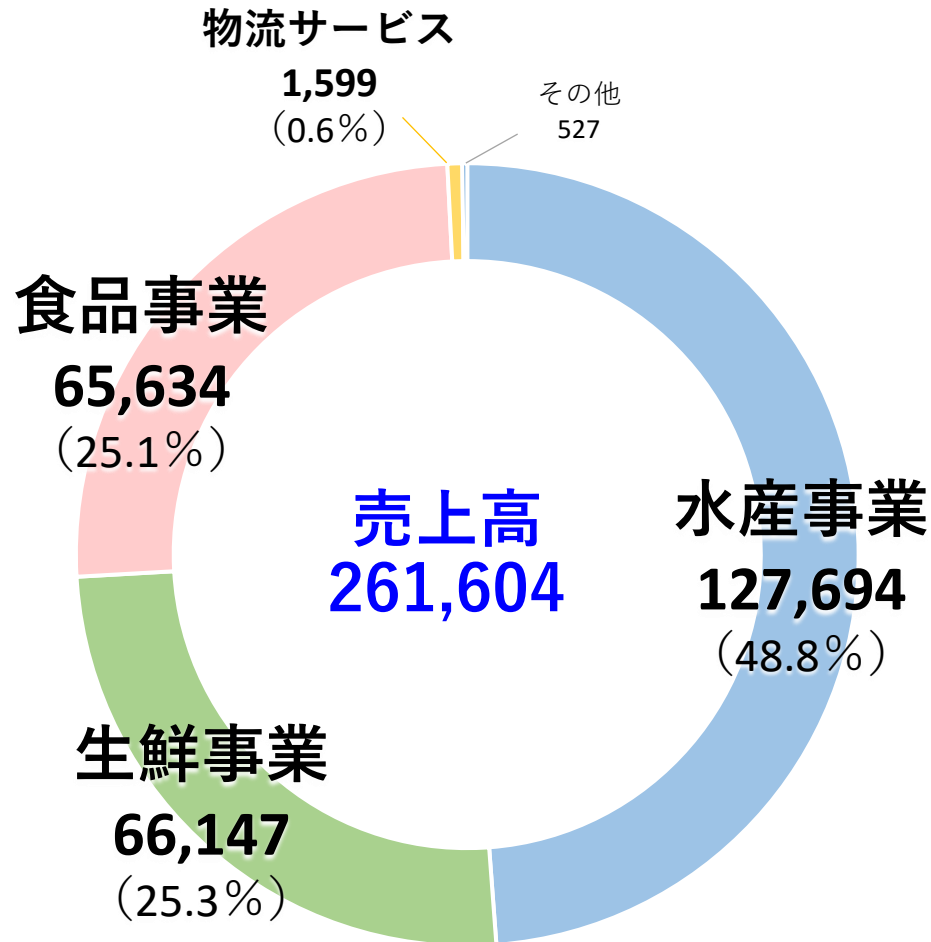
(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比
水産	139,058	127,694	△11,364	2,740	5,001	2,261
生鮮	72,588	66,147	△6,440	5,406	2,485	△2,921
食品	58,684	65,634	6,949	801	2,613	1,811
物流 サービス	1,361	1,599	237	203	289	85
その他	473	527	54	△1,046	△1,583	△537
合 計	272,167	261,604	△10,563	8,105	8,806	700

※管理区分を見直したことに伴い、「水産事業」の前年同期実績についても、セグメント変更後に組み替えて記載しております。

セグメントの状況

単位：百万円
カッコ内は構成比



※調整額 △1,753百万円を除く。
調整額を差し引く前のセグメント利益合計は10,559百万円。

水産事業

《減収増益》

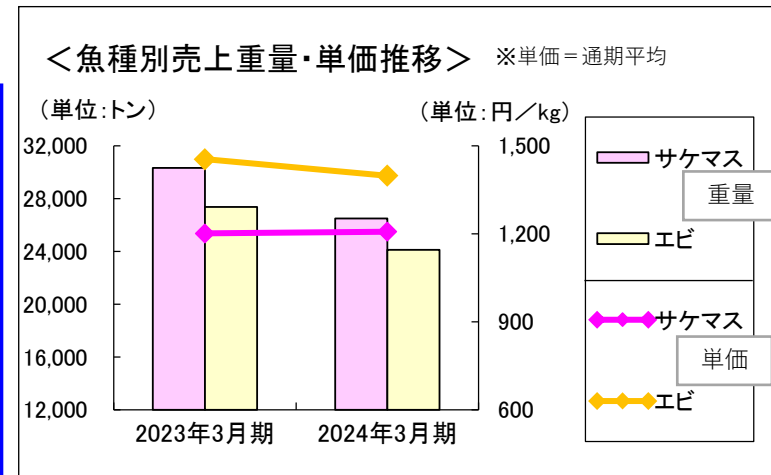
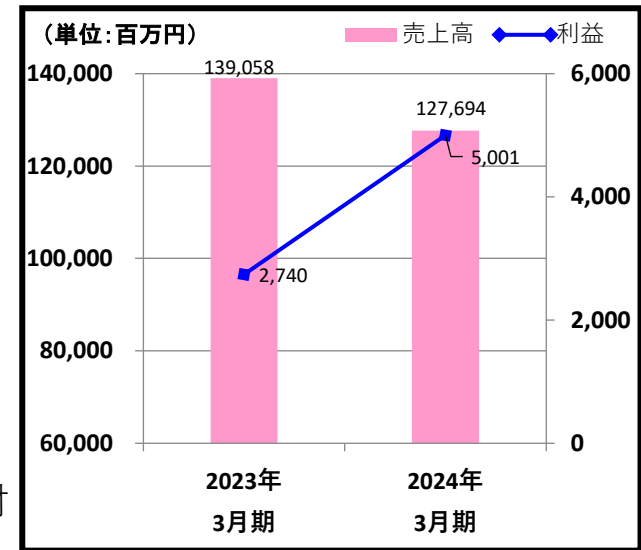
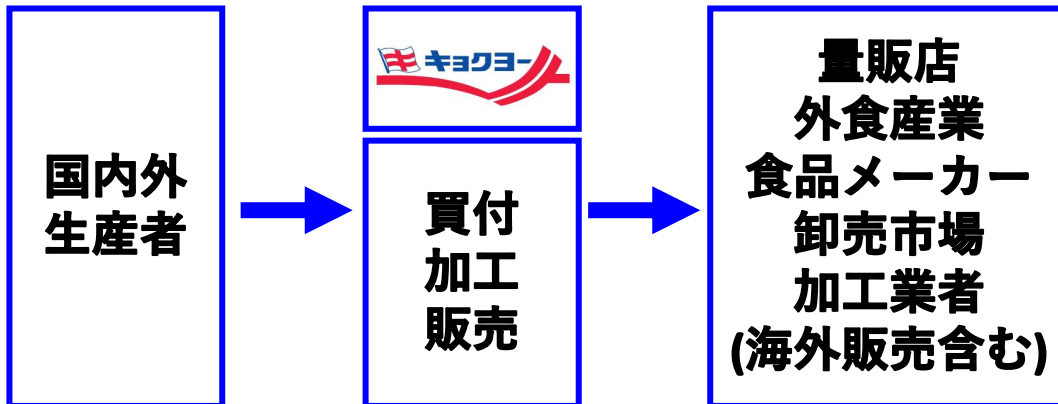
(国内販売)

- 主要魚種のサケ、エビを中心に販売は減少
- 年度後半の相場の強含み、年末商戦の高額商品の好調で、収益は大幅に改善

(海外事業)

- 輸出は円安を背景に青物の販売が増加も、中国向け主力商材のホタテの販売が大幅減少
- 海外現地販売は、中国で加工用原料在庫が滞留し、売上減

※参考資料P.31「魚種別売上重量・単価推移」を記載しております。



➤ 生鮮事業

《減収減益》

- 寿司種などの生食商材は、値上げにより販売数量減少も、価格改定効果等により収益は改善
- マグロは、一昨年来の高値疲れによる消費減退で大幅に販売が減少、相場下落が重なり収益も悪化

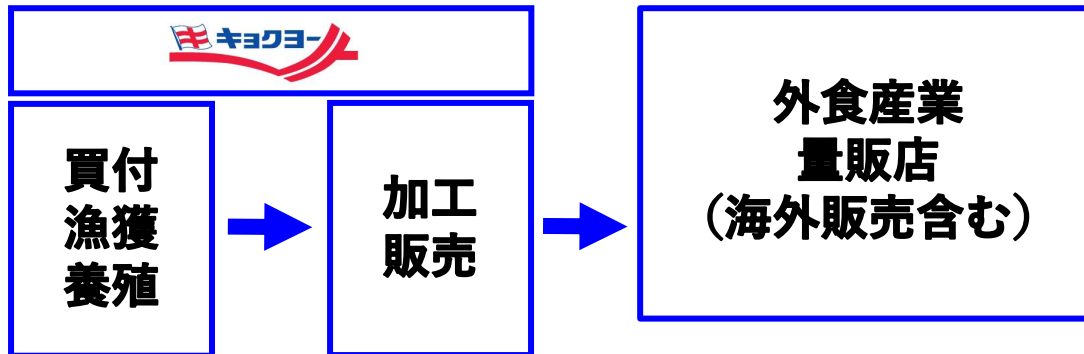
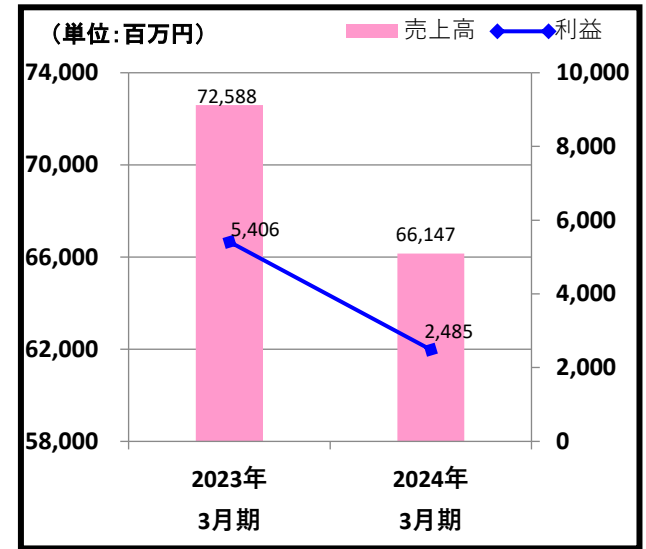
(海外まき網事業)

- 水揚げ量の減少により売上、利益が減少

(養殖事業)

- 国産養殖クロマグロは、売上は前期比で伸長も、飼料費などのコスト増加が収益を圧迫

※参考資料P.32～33に「クロマグロ養殖事業 売上重量・金額」および「海外まき網事業 水揚げ重量・魚価」を記載しております。



寿司種



国産養殖マグロ



インドマグロ



海外まき網船による
カツオ漁

▶ 食品事業

《増収増益》

(業務用冷凍食品)

- エビフリッターやカニ風味かまぼこなどの売上が拡大

(市販用冷凍食品)

- 煮魚・焼魚や弁当用のフライ製品などの販売が伸長

(缶詰)

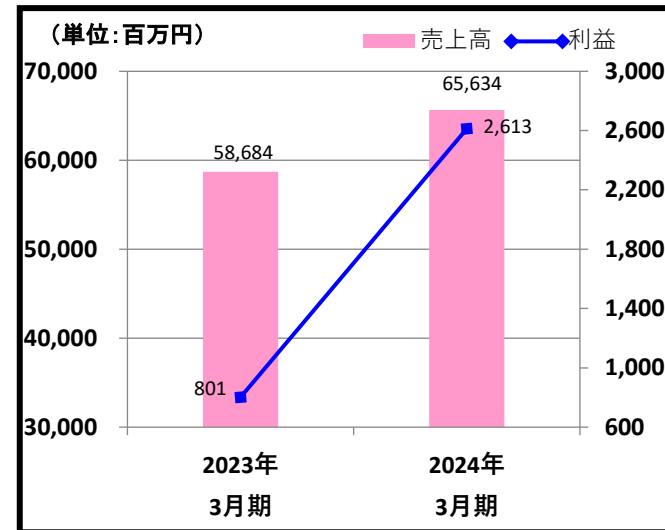
- 不漁を背景としたサバ缶の価格上昇などにより、販売が減少

(おつまみ・珍味)

- 高付加価値商品を中心とした販売で、売上は前期並みを確保

【全体】 コスト上昇を反映した適正価格が浸透し、収益は大幅改善も値上げによる販売数量減少の動きが見られた

※参考資料P.34「食品事業の売上高内訳」を記載しております。



エビフリッター



カニ風味かまぼこ
「オーシャンキング」



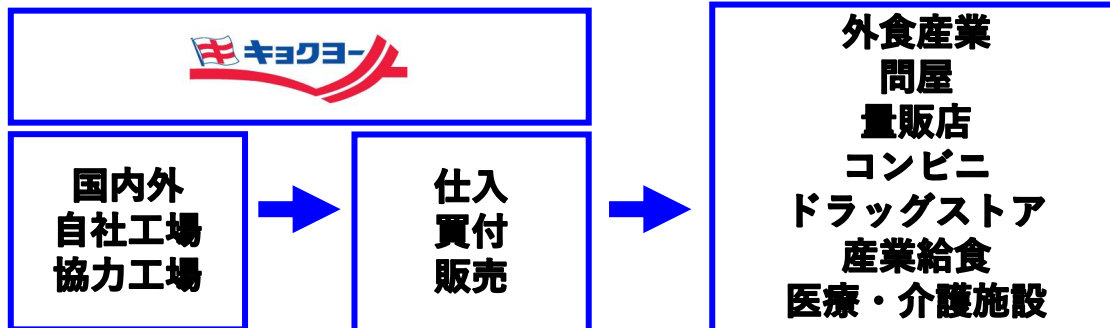
市販用冷凍食品



缶詰



おつまみ・珍味製品



物流サービス

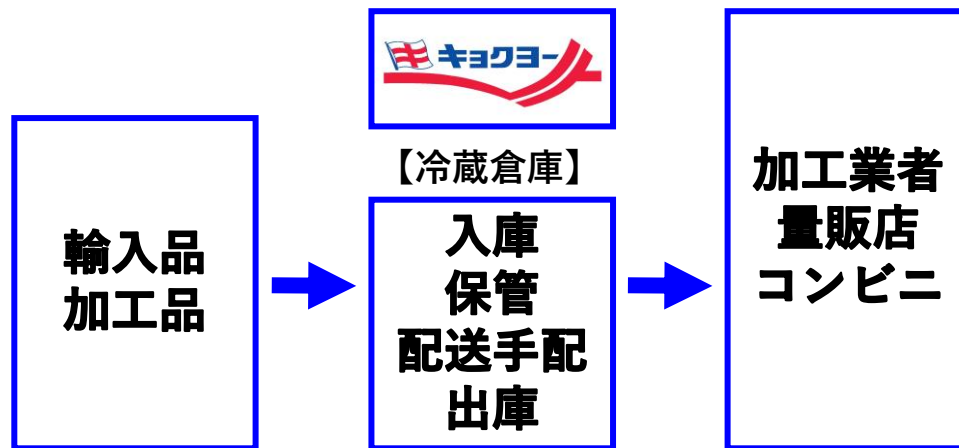
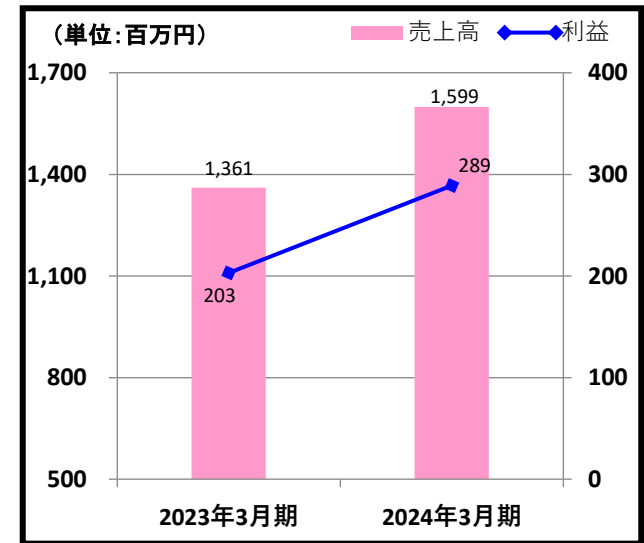
《増収増益》

(冷蔵倉庫事業)

- 庫腹率の高水準が継続したことで保管料収入が増加
- コスト上昇を反映した価格改定により売上が拡大

(利用運送事業)

- 外部取引先からの受注増加により、売上が拡大



城南島事業所



東京事業所



福岡事業所

冷蔵倉庫事業【キョクヨー秋津冷蔵株】

➤ 2025年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	売上高	セグメント利益
水産事業	1 5 6, 0 0 0	5, 8 0 0
生鮮事業	7 0, 0 0 0	2, 7 0 0
食品事業	7 2, 0 0 0	2, 9 0 0
物流サービス	1, 6 0 0	2 0 0
その他	4 0 0	△ 1, 6 0 0
合 計	3 0 0, 0 0 0	1 0, 0 0 0

【水産事業】

- 調達・営業部門の連携強化による販売量の拡大
- 新規調達先の開拓による資源アクセス強化
- 海外事業拡大に向けた海外生産・販売拠点の拡充

【生鮮事業】

- 生食・鯉鮪事業の一体化の強みを活かした販路拡大
- 養殖事業の収益性向上

【食品事業】

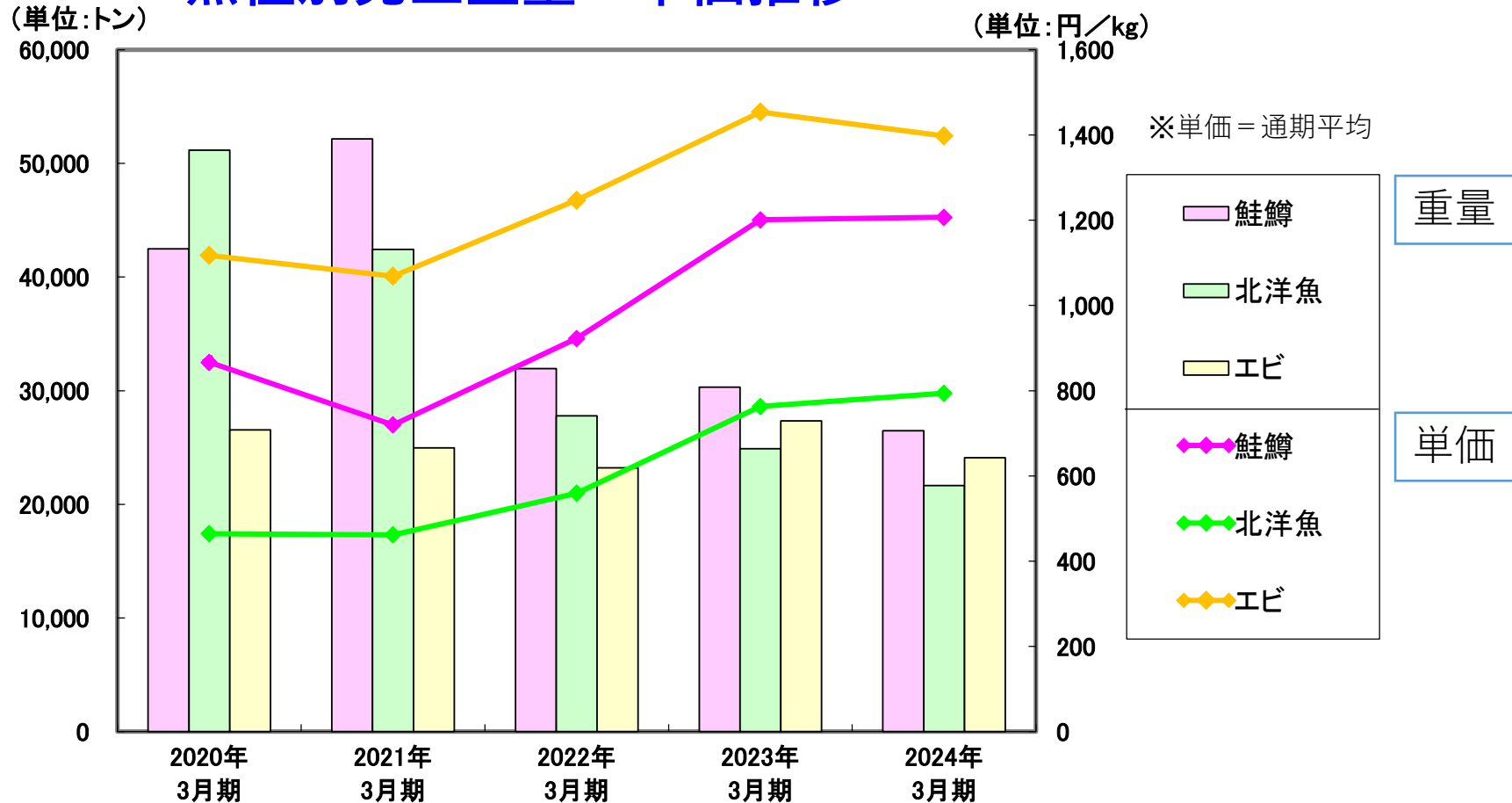
- 自社工場製品の販売を核とした、安定的な収益確保
- 消費者ニーズを捉えた商品力の強化

【物流サービス】

- 2024年問題対応として貨物の集約による配送効率化
- 冷蔵倉庫の貨物回転率向上による売上の拡大

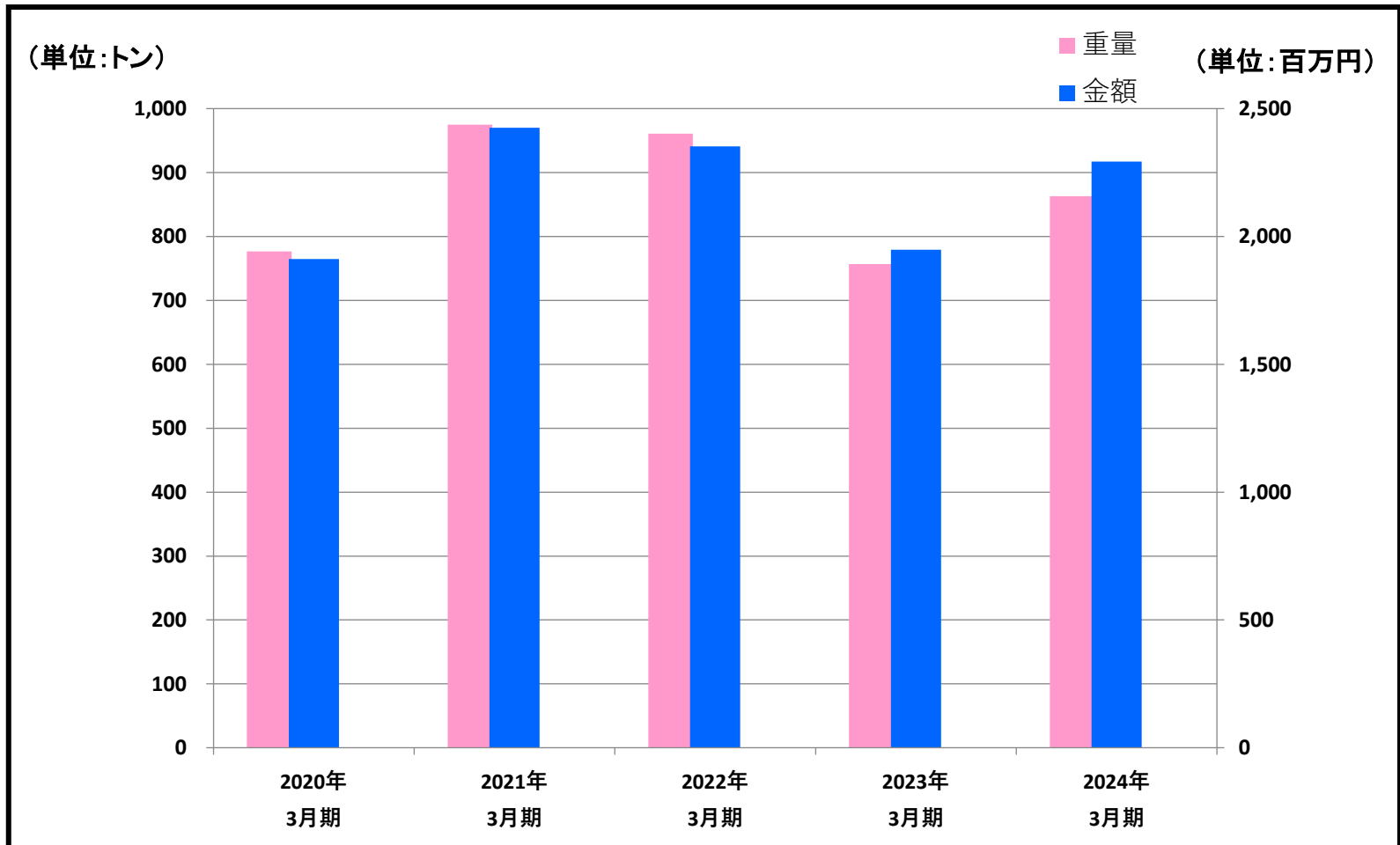
ご参考資料

水産事業セグメント<個別> 魚種別売上重量・単価推移

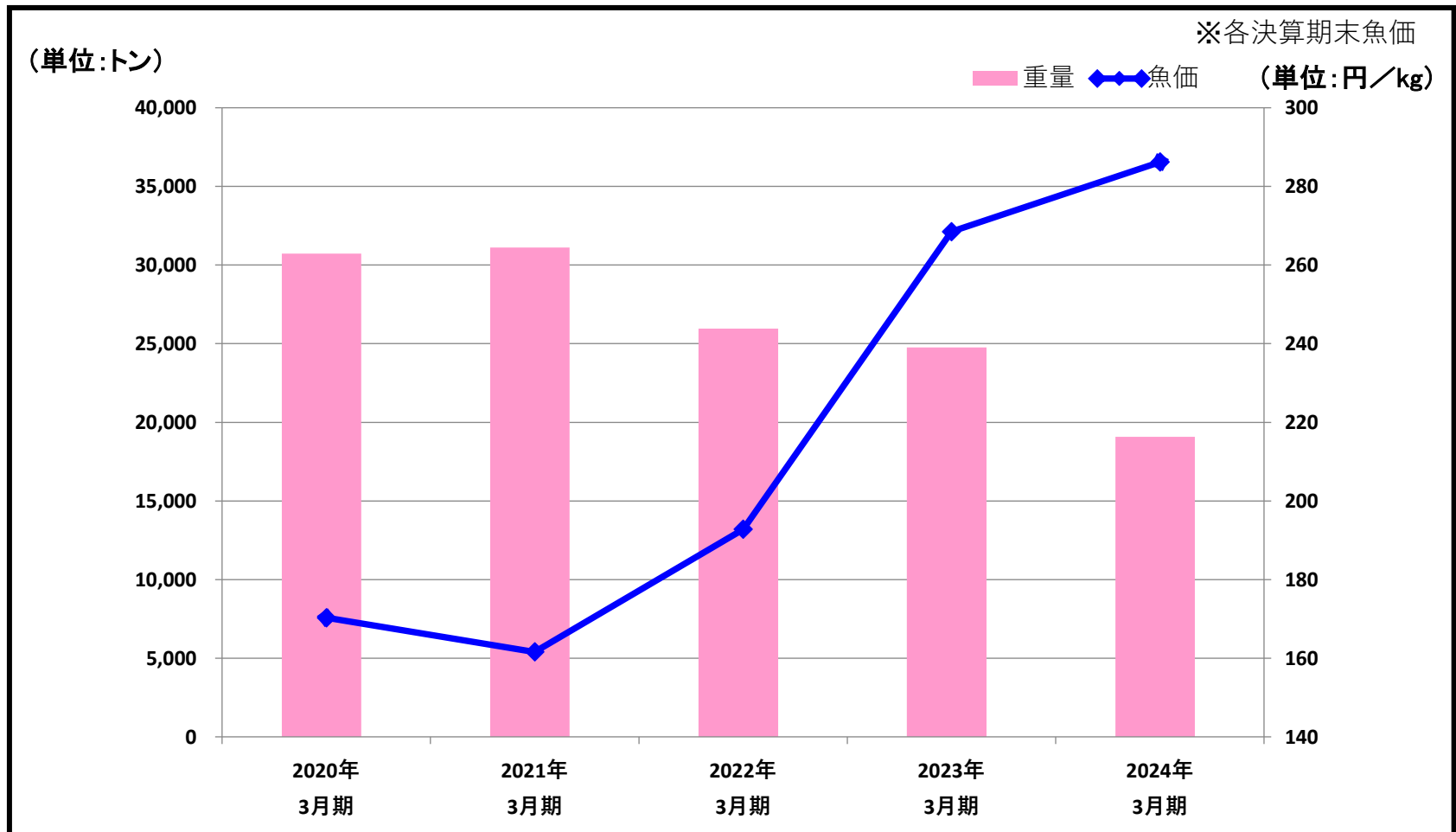


※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を2022年3月期の期首から適用しています。これにより、有償支給取引については、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。2022年3月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

生鮮事業セグメント クロマグロ養殖事業 売上重量・金額

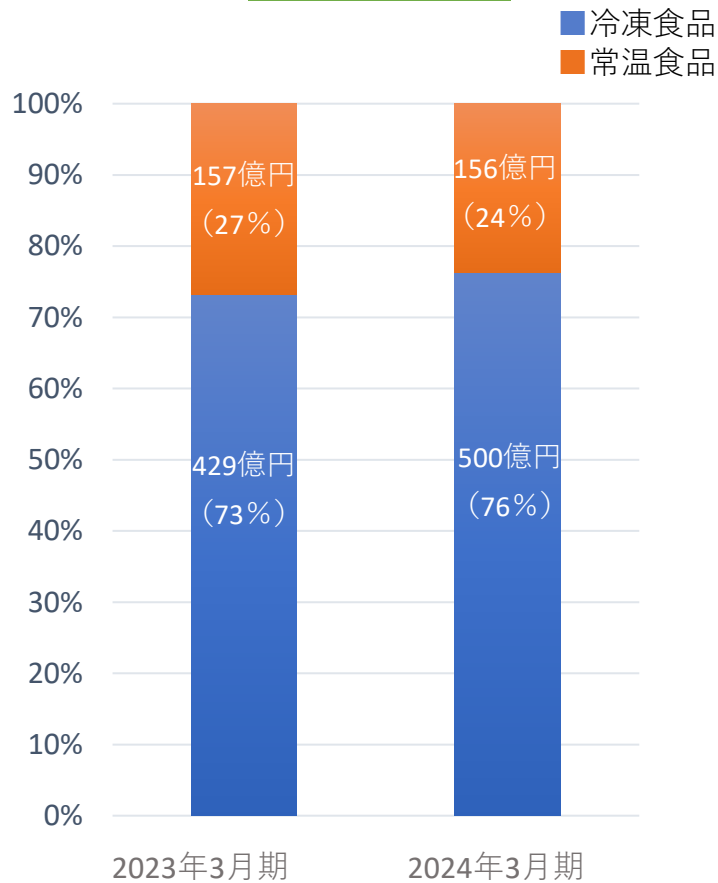


生鮮事業セグメント 海外まき網事業 水揚げ重量・魚価

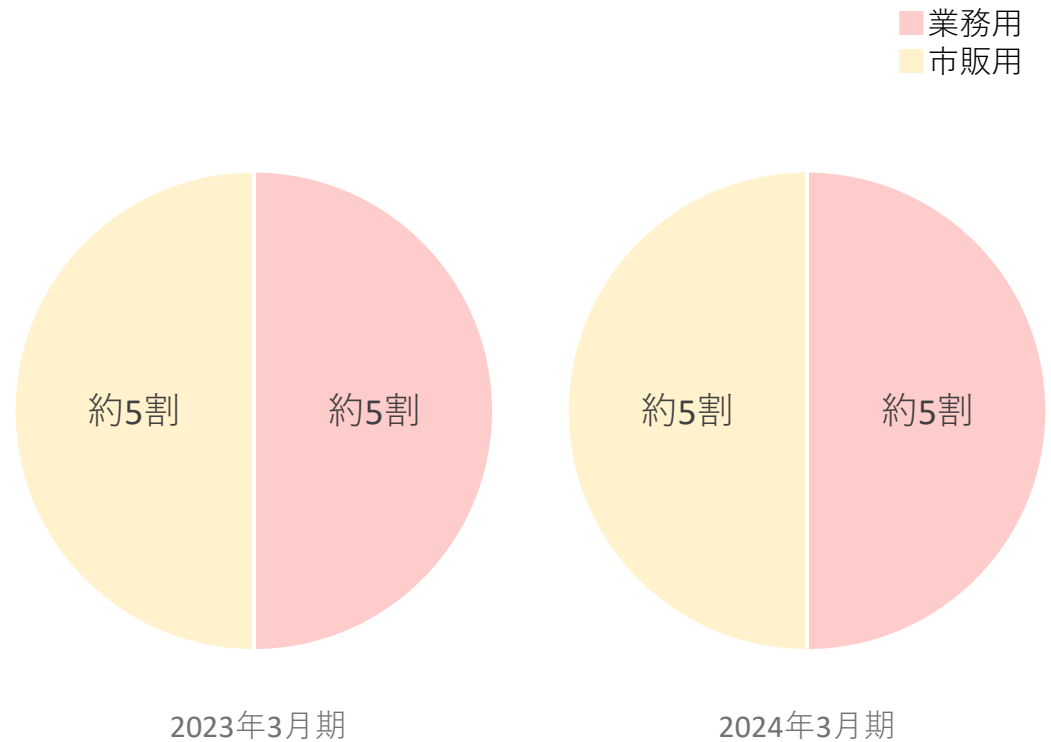


食品事業の売上高 2024年3月期 (65,634百万円) 内訳 2023年3月期 (58,684百万円)

温度帯別



業態別



※2023年3月期実績については、セグメント変更後に組み替えて記載しています。

ESGトピックス

➤ 日本カヌー連盟への協賛

「自然との共生」および「水資源の大切さ」を社会に訴える環境保全活動の一環として日本代表選手や日本カヌー連盟の活動を応援、サポート。また、競技場へ来場された方々にご参加いただき競技コース付近の清掃活動「クリーンリバー活動」を実施。2023年度参加者は247名。

➤ 海外まき網船乗組員が人命救助【7月】

極洋水産(株)の海外まき網船「第七わかば丸」が、パプアニューギニア沖で操業中に遭難していたパプアニューギニア人14名を救出。

➤ TCFD 提言に沿った情報開示【8月】

「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言に基づいて、気候変動が事業活動に与えるリスクと機会を分析、対応策を検討した結果を開示。

➤ キョクヨーグループ 統合報告書2023 発行【9月】

中期経営計画の進捗状況および予測・長期展望やESG項目を記載。初めて「社外取締役のメッセージ」を掲載し、社外取締役の多角的な視点と「新たな成長」に向けて変わりつつある当社の姿を表現。

➤ 世界水産物持続可能性イニシアチブ（GSSI：Global Sustainable Seafood Initiative）に参画【10月】

グローバルに事業を展開し水産資源の持続的利用を推進する企業として、GSSIの活動を支援。

（GSSI：国連食糧農業機関（FAO）の水産業関連ガイドラインに基づき認証水産物の信頼性を担保し、グローバルな視点で水産物のサステナビリティに関する改善の取り組みを推進する非営利組織）



ESGトピックス

➤ キョクヨーグループ水産物資源調査の実施【10月】

自社グループの調達状況を認識するとともに、課題を把握し、適切な対応をとることを目的に実施。調査結果はサイトで公表。

➤ 出前授業を実施【12月】

子どもたちに水産業や魚について関心を持ってもらうことを目的に（一社）大日本水産会が主催している出前授業に参加。中学2年生141名を対象とした授業で、「お魚を無駄なく、食べよう」をテーマに講義を実施。



➤ 能登半島地震による被災地・被災者への支援【1月】

支援活動及び被災地の復興に役立てていただくため、日本赤十字社を通じて、義援金1,000万円を拠出。また、支援物資として缶詰（500万円相当分）を提供。

➤ 養殖マダイ、ブリ、ブリヒラで水産エコラベルを取得【1月】

子会社のクロシオ水産(株)が、マダイ、ブリ、ブリヒラの養殖について、マリン・エコラベル・ジャパン（MEL）の認証を取得。（MEL：水産資源の持続的利用、環境や生態系の保全に配慮した管理を積極的に行っている漁業・養殖の生産者と、そのような生産者からの水産物を加工・流通している事業者を認証する国際的にも認められた水産エコラベル。）



マダイ



ブリ



ブリヒラ

➤ 連結業績推移

単位：百万円

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	262,519	249,197	253,575	272,167	261,604
売上原価	238,274	223,620	225,558	241,139	228,213
売上総利益	24,245	25,576	28,016	31,027	33,390
販売費および 一般管理費	21,326	20,918	21,624	22,921	24,584
営業利益	2,918	4,657	6,392	8,105	8,806
経常利益	3,608	4,879	6,904	8,182	8,856
特別利益	68	1,676	50	353	1,994
特別損失	664	934	229	132	2,295
親会社株主に 帰属する当期 純利益	2,037	3,838	4,634	5,782	5,936

➤ 連結財務指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
純資産(百万円)	32,593	39,975	42,174	46,966	58,860
有利子負債 (百万円)	55,173	51,174	58,121	68,973	74,625
在庫回転日数	45.9日	46.7日	55.5日	65.5日	78.1日
自己資本比率	29.4%	34.7%	32.7%	32.5%	36.7%
ROE	6.3%	10.5%	11.2%	12.8%	11.1%
ROA	3.2%	4.3%	5.6%	5.9%	5.8%
1株当たり 純資産	3,046.26円	3,753.90円	3,969.73円	4,436.27円	4,965.39円
1株当たり 当期純利益	188.53円	356.95円	430.83円	539.10円	548.61円

- ROE：「親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本*」
- ROA：「経常利益÷総資産*」
- 在庫回転日数：「商製品在庫高*÷売上高×365」
- 自己資本比率：「自己資本÷総資産」

*当期末と前期末の平均値としている。

見通しに関する注意事項

本資料は、2024年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としております。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因によりこれらの予想と異なることがありますのでご了承ください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極洋 SR推進部 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。